

第2回大麻町未来づくり会議 会議録

令和7年10月16日（木） 18:00～20:00 板東公民館

発言者	主な発言内容
事務局	定刻が参りましたので第2回大麻町未来づくり会議を開催いたします。開会にあたりまして小田切座長よりご挨拶をお願いします。
座長	みなさん、こんばんは。座長の小田切でございます。今回もよろしくお願いいたします。今日は、既に皆様にグループに分かれていただいておりますが、グループワークがメインでございます。時間が限られておりますので手短にご挨拶させていただきます。前回、いろいろとご意見をいただきまして、情報共有する機会、ディスカッションする機会が欲しいというお声がありました。その後、事務局の方でコーディネートいただき、今回、委員の皆様と一緒に議論をしようという会議になっています。是非率直にご議論いただいて、次回の会議に繋がる意見をいただければと思っておりますので、皆様よろしくお願い致します。
事務局	ありがとうございました。 次に委員の変更についてご報告いたします。堀江地区自治振興会会長の交替に伴い、「郡 崇」様から「吉田 初子」様に変更がありました。今回から吉田様にもご出席をいただいております。 また、前回の会議をやむを得ず欠席されておりました「山口 雅人」様、「郡 幸弘」様にも本日は出席いただいておりますので、3名の方につきましては、吉田様から順番に一言、ご挨拶をお願いいたします。
委員	委員3名より自己紹介
事務局	ありがとうございました。 本日15名の委員のうち、13名の委員が現時点で出席されております。事前に「大西 直紀」様については欠席の連絡を受けておりますので報告いたします。6月30日の第1回会議の議事録につきましては、時間を要し、委員の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、皆様のご確認をいただきまして鳴門市の公式ウェブサイトに掲載しておりますのでご報告いたします。 それでは本会議の座長につきましては、大麻町未来づくり会議設置要綱第5条の規定により「会議については座長が進行する」としておりますので、小田切座長に進行をお願いしたいと思います。 よろしくお願い致します。
座長	それでは進行をさせていただきます。

	<p>早速ですが、中身に入る前にオブザーバーのご紹介ということで、前回の会議の中で委員の皆様よりグランドデザインを考えていくにあたって、このメンバーの中で議論することはもちろんのこと、関連の民間事業者であるとかの意見をどんどんいただいてもいいのではないかなという声がありました。未来づくり会議設置要綱の第7条に「オブザーバーを置くことができる」という仕組みになっておりまして、オブザーバーは第3者として専門的な立場からご意見をいただくというものです。それを座長が任命するという権限があり、今回オブザーバーをお呼びして、今後、ご意見ご協力をいただきたいという話が最初の議論となります。</p> <p>事務局の方から説明いただければと思いますのでよろしくお願いします。</p>
事務局	<p>それでは経緯を説明させていただきます。資料1の3ページになります。10月15日の徳島新聞の朝刊に掲載されていましたが、9月30日に本市と㈱徳島大正銀行様、とくぎんトモニリンクアップ㈱様、㈱サーキュレーション様と㈱RCG様の5者で連携協定を締結しております。連携内容につきましては、資料の中段に記載していますが、5つございまして「地域資源を活用したまちづくりの推進」、「住民参加型の地域活性化の推進に関すること」、「企業版ふるさと納税を活用した関係人口の拡大」に関すること等を含めております。大麻町の現状、まちづくりの方向性等々を共有する中で、先方の方からご支援、ご提案をしたいというお話がございました。こうした団体様と連携を図ることで「プロ人材」というものを派遣していただいて「まちづくりの専門家」による伴走であったり「グランドデザインを描いた後の作業を実行していく際の支援」を受けたりすることができます。また企業版ふるさと納税によって、全国の企業様から寄付をいただく仕組みもあり、企業にとっては法人関係税が9割減税できる一方で、大麻町の課題や施策に対する金銭的な支援につながる制度となっており、こういった財源をしっかりと獲得していただけるというところで、持続可能なまちづくりを考えていく中で、事務局といたしましては、是非、会議に参画いただいてご支援いただけたらと考えております。</p> <p>説明については以上でございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。座長の権限ということでございますので、是非この機会に大麻町の未来のために知恵をお借りするということで、ご協力いただければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、担当者の方にご入場いただきまして自己紹介等、お話いただければと思います。</p>

オブザーバー	とくぎんトモニリンクアップより自己紹介。
座長	次の議題として前回の振り返りをしてから本日の議題に入っていきたいと思います。まずは事務局の方から前回の振り返りについてお願いします。
事務局	<p>資料の４ページをお開きください。こちらに本会議のロードマップということで、第２回目を１０月に開催してその間アンケートを取って結果をご説明させていただくという流れであったと思います。また、冒頭に、座長より皆様からいろんな意見をいただき、ディスカッションして活発化していくために、今回グループワークという形にさせていただき、課題についても交通、企業誘致、生活の利便性向上とがありますので、それぞれのテーマで議論いただくということで、今回設定させていただいています。本日いただいた意見を次回、グランドデザインというところで積極的に検討していければと考えています。</p> <p>また、会議の中でドラックストアができるというお話があったかと思えますので、この点の進捗状況と大麻町で新たに取り組みを進めたいと思っております移動支援事業、これらについてご説明をさせていただければと思っております。</p> <p>資料の６ページ「ドラックストア」についてですが、既に工事が開始されていて皆様もご存じかと思えます。場所については鳴池線を西に行きまして霊山寺を過ぎて板東谷川にさしかかるところで「クスリのアオキ大麻店（仮）」の工事が進められております。市で確認している状況としましては半年程度で工事を終え、来年の５月頃の開店を目指していると話を伺っています。どのような店舗になるかの詳細というのはこれからだと思えますが、ホームページ等を見ると日用品、食料品、店舗によっては生鮮食品を扱っているようなところもございますので、今回の店舗ができることで買い物場所の確保とかといったところで利便性が上がるのでは思っております。状況については以上です。</p> <p>続きまして大麻町における移動支援についてご説明させていただきます。</p>
事務局	<p>資料の７ページをお願いします。移動支援事業についてご報告させていただきます。背景といたしまして、大麻町では駅やバス停が近くにならない地域、特に南部や西部を中心に公共交通空白地と呼ばれる地域が存在しております。これらの地域におきまして、高齢者の方々の通院や買い物など日常の移動が課題となっていることから、このような状況を少しでも解消するため、地域と行政、民間団体が連携して移動支援実証事業を行うこととしました。事業の概要といたしましては、地域で高齢者の</p>

	<p>居場所づくりなどを行っている「縁どころ」という団体と、大麻町内にあります社会福祉法人の「大麻福祉の町」「しあわせの里福祉会」の2法人が連携して実施するものです。社会福祉法人が所有する車両を活用して、あらかじめ設定しました集会所などの8箇所の乗降場所から駅を経由して買い物施設までの移動を支援いたします。運賃は無料で、対象者は大麻町にお住まいの方としています。運行の内容につきまして、ルートは板東地区を中心とする西エリア、堀江地区を中心とする東エリアの2つに分けまして、乗降場所をそれぞれ4カ所ずつ設けております。運行は毎週木曜日の午前中に行いまして、西エリアと東エリアを週替わりで交互に運行するという形です。利用者の方は各エリアの乗降場所から乗車いただき買い物施設まで移動します。月の前半は池谷駅と鳴門駅を経由して鳴門市街の買い物施設まで向かう、月の後半は西エリアのルートは板東駅を経由して藍住方面に、東エリアのルートは池谷駅を経由して北島方面の買い物施設までの移動を支援します。</p> <p>利用にあたりましては、事前に地域団体の「縁どころ」に予約をしていただき、当日は福祉法人の職員が乗降場所と目的地の間を往復で送迎するような運行形態です。今後の予定といたしましては、11月から翌年の3月までを実証運行の期間としています。この期間中に利用者の皆様からアンケート等を実施いたしましてニーズや課題の把握をし、その結果を踏まえて4月からの本格運行を目指したいと考えています。</p> <p>以上となります。</p>
座長	<p>「クスリのアオキ」と「移動支援事業」に関してというところでした。進捗報告というところですが、この件に関しまして委員の皆様より何か質問等ございますでしょうか。</p>
	<p>(意見なし)</p>
座長	<p>それでは次に進みたいと思います。</p> <p>前回お話のありましたアンケート調査結果について事務局から説明をいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>事務局よりアンケートの結果について説明させていただきます。資料2をご覧ください。1ページよりご覧ください。今回のアンケートにつきましては、大麻町の将来像や地域課題につきまして皆様のご意見を把握し、今後のまちづくり施策の検討に生かすことを目的に実施しております。調査は7月から8月にかけて行っており、若者世代から高齢者世代まで502名の方からご回答をいただいております。</p> <p>2ページ以降、資料に沿って説明</p>
座長	<p>ご説明ありがとうございました。中高生の回答が多いようですが、何</p>

	<p>かあったのでしょうか。人口構成からサンプリングすると子供たちの声は少ないと思うので、若者に寄ったアンケート結果なのかもしれませんが、未来を考えるとという意味では非常に貴重なデータなのかもしれませんので今後の議論に活かしていければと思います。</p>
事務局	<p>中高生が多い理由については学校にお願いし、先生方にご協力いただいたことが回答を多くいただいた要因と思われます。</p>
座長	<p>いずれにしても貴重な若者の声として非常に面白いデータかも知れませんが今後活かしていきたいと思います。</p> <p>アンケートにつきまして皆様の方から何かご意見等ありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。</p> <p>資料を配っていただいておりますので結果を踏まえて議論していただくという形でいいかなと思います。是非皆様にご覧いただければと思います。</p> <p>では次にグループワークに入っていきたいと思います。進行の方法や議論の進め方について事務局で準備いただいておりますので、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>グループワークについては事前に各委員様には説明させていただきましたが、前回の会議、アンケートを含めて課題と考えられる4つのテーマを設けさせていただいております。A班は「観光・にぎわい」、B班は「産業振興・企業誘致」、C班は「子育て・教育環境の充実」、D班は「公共交通・移動」というところで意見をいただきたいと思っています。具体的な時間配分については資料10ページにあります。議論いただき、まとめて発表していただく。その中で、例えばA班の発表について他の班の方でも興味があったり、意見がある方もいらっしゃると思うので、その時間も取らせていただくしながらA B C Dと順番に回っていきたいと思います。また市、リンクアップ様においてもいただいた意見を踏まえてランドデザインであったり、具体的にどのような事業をしていったらいいかいうところを考えていきたいと思いますので、各担当がテーブルに付き、一緒にお話を聞かせていただければと思います。</p> <p>詳細の進め方については、本市に地域活性化企業人として進行にノウハウのある職員がいますので、そちらの職員から改めて説明させていただきます。</p>
GW進行	<p>本日、グループワークのファシリテーションを務めさせていただきます株式会社ルネサンスからまいりました佐藤と申します。</p> <p>本日は80分ほどのグループワークを予定しています。皆様の率直な意見を聞かせていただければと思いますので、ご協力のほどよろしくお</p>

	<p>願います。</p> <p>事前にお渡しさせていただいておりますワークシートをご準備ください。事前に4つのテーマについてお考えいただき、今回はA B C Dに分かれています、先ほど事務局からお話させていただきましたように、他のグループにも意見を言う時間を準備しておりますのでワークシートをご準備の上、ご議論いただければと思っています。</p>
	<p>4班に分かれたグループワーク</p>
グループごとに発表	<p>■A班【観光振興と賑わい創出】</p> <p>「ワンダフル大麻」というキャッチコピーで10の提案をさせていただきます。</p> <p>①令和9年度に建つ（仮称）大麻町防災センターをウエストベースとして常設拠点を設け、ここで観光案内や移住相談、空き家の相談、空き店舗の紹介、シルバー人材センターのような高齢者の雇用の場を設けていくプランニングをする拠点としたい。</p> <p>②大麻分署、板東連絡所を壊した跡地に県外から大麻地区に移住したいという人のために「お試し施設」を検討いただきたい。</p> <p>1階に「チャレンジキッチン」、2階を「お試しの居住スペース」という施設を作ることによって大麻町がどのような所か理解していただき、農業をしたい人の場合、畑はここにある、家はここにあるといったところを具体的に見える重要なものになる。</p> <p>③メディアやSNSを使った発信が大麻町は下手であったと思っている。板東地区では「フロイデ君」という第九のキャラクターを、60万円ぐらいかけて作った人形がある。これが鳴門市の観光PR大使となっており、こういったものを各企業に使っていただき、新しい商品展開をしていただくとか、ユーチューバーのように今風の展開ができる若者を雇用して、大麻町のリアルをユーチューバーとして発信していただくような取り組みが大事なと思います。</p> <p>④鳴門は東と西に観光拠点が分かれている。GWやシルバーウィークにはシャトルバスを運行していただいたらと考えています。</p> <p>⑤ドイツ館等がありますが、今、ドイツの俘虜の展示を行って史実の発信をしておりますが、そこに第九というものが「アジアで初」というのがありますので、取り組みを強化していただくことによってベートーベン像の前でいろんな人が第九を歌う、そして鳴門市が認証する。</p> <p>（時間となったため残りの提案は資料にて確認）</p>

	<p>⑥道の駅「第九の里」の内部を改装して、一部を体験型コーナー(大谷焼、ドイツ兵浮虜が行っていたガリ版印刷体験等)にする。</p> <p>また、１０７年前にドイツ兵浮虜が収容所内で行っていたリグレーション(ボーリング、射的、輪投げ、力自慢競技等)を常時体験できる屋外ゲームコーナーを設けることにより、ファミリーの集客力を高める。</p> <p>⑦町内の飲食店や道の駅第九の里等に協力してもらい、大麻町のお土産、コウノトリ関連商品や大麻グルメを新たに創生する。</p> <p>空き店舗や空き家を活用して、県内外から商売をしたい若者を誘致する。</p> <p>⑧観光客の宿泊施設が足りないので、町内にビジネスホテルを誘致する。</p> <p>大麻地区には現在４１４戸の空き家(令和３年板東２１９戸・堀江１９５戸)が有り、所有者と協議し、使える空き家は民泊やゲストハウスにリフォームして宿泊施設にする。</p> <p>⑨池谷駅や板東駅、高速鳴門西サービスエリアを活用してのインバウンドや国内観光客誘致戦略を行う。また、レンタカーやレンタサイクルを充実させる。</p> <p>⑩店舗や老健施設が建築できるように、都市計画区域の用途地域の見直しや、特区構想により企業を誘致</p> <p><他のグループからの意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光振興、賑わいということで、阿波神社というものがあるが、上手く活用できないかと思っている。 →資料は概略のため、地域でまとめて、どこどこを拠点にシャトルバスが停まるかは、みなさんと検討していけばいいと考えている。 ・④のところで大谷の蔵めぐりなんかも入れて欲しい。大谷焼の里があり、年に２回窯祭りであったりしているので発信していただきたい。 ・酒フェスタがすごく良かった。 <p><Ａ班から補足説明></p> <p>実際にグルメも１０年前から計画しており、板東には今、９つのグルメがある。いつでもスタートできる状態にある。各飲食店も協力してくれるところがあり、「洋食 元」という霊山寺の横のお店に作っていただいたドイツ風の餃子、私が作った博愛パン、昨年提案したＢＡＮＤＯポテレンという農協に協力していただいた新たなグルメ。こういう風な物の展開は１０年間積んできた。これらを活用しながら、大麻町全体で新たなグルメを作ってやっていくことがベストと考えている。衣・食・住</p>
--	---

です。

- ・温泉施設といった話題は出なかったか。

→1番は大鳥居苑しか泊まる所がないのが最大の欠点。やはり空き家を活用した民泊施設やビジネスホテルの誘致も考えている。
用地にある程度目星をつけたら、そこでネットで事業者を募るということもやってもいいかなと考えている。温泉付きホテルでもいい。

- ・市街化調整区域とかの都市計画の変更をしてもらえればいろんな人が事業をしやすくなるのかなと思います。

→⑩には用途地域の変更が入っているが、過去に相談させていただいたところ、具体的な物があれば用途変更もあり得るとのことでした。結局、畑にしかできない土地に、店舗とかいろいろな物を作るには一部用途変更と緩和が必要になってくると考えている。

■B班【産業振興・企業誘致】

①農業に関して休耕田を活用した陸上養殖

聞きなれない言葉と思うが、水槽を使って淡水を循環させてエビとかを養殖するスタートアップ企業を呼び込む。そこに対して補助金の活用などできないか。

②コウノトリの保全をPRしながらの公園化、今、板東谷川の吐き出し口で工事が進められているようです。

③買い物に関して道の駅のリニューアルや交通の便がいいところに移転したらどうか。

④SNSなどを使った積極的な働きかけや、銀行の融資を得られたら。

⑤道の駅「第九の里」や「ドイツ館」付近の再整備。

⑥市街化調整区域の見直しが必要になってくる。

(さらに補足説明)

①に関して補足説明で、脱サラした人や退職した方が、エビやハタ、ヒラメ等の高級魚の養殖が簡単にできる。素人でも養殖できる技術が今はある。補助金も出ている。スタートアップ企業や独立したい人を呼び込んで、農業倉庫や休耕田を使ってやってみてはどうか。

⑦旧堀江公民館をリノベーションして活用できないか、買い物難民に関して、板東には「アオキ」ができますが堀江には何もない。コンビニがありますがそこに品数が増え身近な商品を置いてくれば、買い物も良くなる、あと「とくし丸」もあるので難しい所ですが、堀江地区に対しては旧公民館を改修していただいてサテライトオフィ

	<p>ス的なものを呼び込むというのもいいのではないか。</p> <p>⑧商工会の会員の中でも民泊やビジネスホテルとタイアップして観光客を循環させていければ。</p> <p>⑨板東谷川の吐き出しのところに環境省がコウノトリのために大規模な公園を整備する計画があるので、ここを「釣り公園」とか菖蒲を植えたりするなどして、上手く活用して観光や子育てにおいても自然に親しむ場所にできればどうか。</p> <p><他のグループからの意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致という部分で、熊本のT S M Cのようなところをもし作れば若い人の働く場所ができるという意味で大きな企業を。あと、淡路島にパソナが来た。ああいうのも面白い。住みよい環境にあるので一つ提案したい。 ・市街化調整区域の用途区域の変更の問題というのは、今、農地だと固定資産税が安い。一律に市街化区域にしてしまうと固定資産税が上がる。すると農家の人の首を絞めてしまう。耕作放棄地になり、農業できないのに固定資産税だけ上がる。なので全域ではなく絞ったところをコンパクトシティの中の商業区域にするとかという中で、用途区域の変更もしていく方が他の人に迷惑を掛けない。 ・他の委員もからもありました、コウノトリの公園ができます。ここはやがて「川の駅」になる。今は北島まで来ている。そこから遡ればここまで来る。そうすれば、船、J R、バスと立地はすごく良くなる。ここを活用しないといつやるんだ。 ・今、土地が安いという声があったが、逆に高くなれば、今、農業を継いでいけない人がいっぱいいて、そういう人が固定資産は高いけど売る時の値段も高くなる。そういったことも今後あるのではないかな。今、家の前のレンコン畑でもほとんど他人に貸している。安くても売りに出せない人がいる。将来、20年、30年後に企業を誘致するのに土地を高くすることで安かった土地が高く売れるというメリットもあるのではないかな。 ・職場であった意見ですけれども、今回空き家をグループホームに活用できないか、空き家があって、一度、大麻町内でグループホームをしようと思ったが無理だった。法人のグループホームが藍住町にある。食事支援とかに関して、世話人がお休みの時には職員が大麻から藍住まで行き、利用者様のお食事とか送迎支援をしている。これが町内にあれば福祉の面でも助かる。グループホームに活用したい。
--	---

- ・できない理由も用途地域の問題だと思う。市街化調整区域ではグループホームができない。用途の制限があるということ。板東地区、堀江地区の市街化区域であればできると思う。

■C班【子育て・教育環境の充実】

- ①大麻町に公園がほとんどない。子育て世代の人たちが行く場所がない。子どもが遊べる場所がないというのが意見として多くありました。特に公園はボール遊びができる場所とか自転車の練習をするような公園があればいいという声がありました。短期で出来ることは何だろうと思ったときに、公園とかを空き家を活用して芝生を敷いて、子どもが遊べるような施設があればいいのではないかという意見がありました。
- ②子育て中の母親が相談できる場所とか子育てママが集まれる場所、施設が大麻町内にあったら。一人で育てているお母さんもいるのでそういった人達の励みになるのではという意見がありました。
- ③公共交通機関がどうしても不便というところがあり、特に子育て世代が部活動とかの送り迎えを自家用車でしていることもあり、公共交通機関が良くなってくことで、公共交通機関を使って子どもたちが部活動に行ったりとか鳴門市内を回れたら、よりお父さん、お母さんの負担が改善されるのではないか。
- ④飲食店・スーパーが無いので、意見としてはドラッグストアよりスーパーが欲しいというのが意見としてありました。
- ⑤パン屋さんとかあれば朝ごはんを準備する手間とかが改善されるというものもある。
- ⑥屋内施設で遊べる場所も欲しいという意見があって、例としてはスーパー銭湯みたいな中に漫画があったり、卓球ができたり人が集まれる場所として、そういった場所があれば老若男女みなさんが集える場所が大麻町にあればというのもありました。
- ⑦1歳の子供を育てていて、大麻町で遊びたいが、どうしても場所が無いので町外に出て遊んでいるというのが現実です。実際に堀江区域で散歩しているといろんな人と会いますが、赤ちゃんを見るとみんな笑顔になって喜んでくれる。公園とかで子どもたちが遊んでいる姿を人々が見ることで、エネルギーを貰ったり、活力になることもあると思うので、そういったところを増やして大麻町を活気づければいいなと思っています。その一つにイベントというか子供が遊

べるお祭りを出来たらいいというのが一番にあって、昔は東林院さんの前の通りをお祭りがあったらしくて、子供が来れるお祭りがあればすごくいいなと思います。

<他のグループからの意見>

- ・今、大麻町の小学生、中学生の人数がどんどん減っていると聞いているが、例えば、小中一貫とかできるのかなと思ったりする。今、小学校とか減っているらしいので、小中一貫でスクールバスでやるのもないのかなと思う。事務員さん用務員さんの数も減るし効率がいいのではないかなと思う。
- ・大麻町は南海・東南海地震が起こった時に津波が来ないエリア、鳴門市で唯一という環境が整っているので、新しい子育て世代に対して、(まちが良くなれば) 南海・東南海地震で津波が来ないので家を建てても被害が無い安全性のある町をアピールしていくことで、イメージとしてはいいのではないかなと思う。
- ・大麻町の強みというのが出ましたが、1 個の強みにドイツとの交流関係というのがあると思う。国際色が強い町とも思っていて、大麻町は外国人向けというか外国人受けする観光資源がたくさんあると思っている、自分も日本人と外国人が交流できるイベントを開催したりしていて、大谷焼とかのイベントをすると外国の人とか喜んでくれる。大麻町って強みがあるので教育環境にも活かせるなと思い、国際色の強い町にして、言語とかの教育が強い町とかにできるのではないかなと思っています。

■D班【公共交通と移動支援】

- ①鳴門線の廃止。池谷駅を西の玄関にしてシャトルバスを運行する。
- ②地域バスを例えば鳴門線なら「鳴門駅」まで行っているが、どこへ行きたいというところがあると思うので、スーパーとか病院とか、その点と点を結べるように、例えばアンケートを取ってシャトルバスで回していくのもいいのではないかな。
- ③鳴門線を廃止するが池谷駅は残りますので、駅を東かがわ市の「引田駅」のような形で綺麗な駅にしてはどうかという案も出ています。特に池谷駅にはS L時代の手洗いが構内についていたり、跨線橋もあったりして、駅舎を潰して二階建てにし、見晴らしのいい状況にして駅の前にある空き家は全部潰して広場にして、皆が集まれるようにする。そのようなアイデアとして出ています。
- ④タクシーチケットを配布する。今、「きんときタクシー」さんに聞く

	<p>とほとんど予約で埋まっているみたいで、チケットを使いながらシャトルバスもどんどん増やしていくという案も出ている。</p> <p>⑤高速道路を降りる時に一回出してしまうと料金が掛かってしまうが、大麻地区に出て観光してもらおうと降りたことにならないような仕組みがあればいいのではないかな。</p> <p>⑥点と点を結び、必要な所に行けるようなシャトルバスをどんどん回していけたら、今回たくさん交通の便が悪いとあるのでバスを使っていいのかなと思います。</p> <p>⑦70歳以上の方はバス運賃は無料だが、料金を取った方がいいのではないかな。シャトルバスをどんどん出すので費用が掛かるので、タクシーよりは安いですよ、いつでもどこでも走ってますというように皆さん安心していつでも病院に行けるしスーパーにも行ける。</p> <p><他のグループからの意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校の学区制が廃止されるということで、できればJRには残って、子どもたちを運んでいただきたい。 ・観光客の方向けになるかもしれないが、海外とかに行くとクレジットカードをかざすと自転車に乗れて、その拠点もいっぱいあってそこに返せる。そういうのがあれば、すごく便利だろうなと。 ・公共交通のための道路をもっと大麻町も整備して欲しい。草がたくさん生えていて、道がガタガタでサイクリングにもウォーキングするにも歩きにくいです。他のところに行くと広い。なんで大麻町は観光地なのに悪いのか不思議。 ・先ほど池谷駅の話が出ましたが、観光客を誘客する意味でレンタサイクル、池谷駅と板東駅と鳴門駅ぐらいに無人のレンタサイクルを置いたら池谷駅で降りて蔵めぐりや大谷焼体験できる、板東で降りたら大麻比古神社とか、そういうのもありかなと思います。 ・観光コンベンション、観光協会でもレンタサイクルあるのですが、貸し出しの時に名前を書いてもらって、裏にヘルメットの着用についてチェックあるがほとんどの人が被らない。安全のためには被って欲しいです。来年4月から罰はないが、努力義務になる。貸自転車もパンクしたり結構維持費も掛かる。そういったことも含めて、大きな意味で鳴門市全体で考えていかないといけないと思います。
GW進行	<p>Aチーム、Bチーム、Cチーム、Dチームといろんな意見ありましたがけれども、このテーマは点じゃないと改めて思いました。お話の中でも例えば、観光の事を話したときに子供にどうすれば刺さるかなとか、そのためには公共交通も大事とか企業誘致も大事とか全部複合的に考える</p>

	<p>ことが、まちづくりにとっては非常に大事だと改めて認識しましたので、是非これからも会議等々あると思いますので、その時には皆さんの率直なご意見を聞かせていただければと思います。円滑な運営にご協力いただきありがとうございました。</p> <p>それでは座長にお戻しさせていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
座長	<p>皆さんありがとうございました。お疲れ様でした。</p> <p>今日皆さまから色んなアイデア出ました。今後どうしようか事務局と相談しないといけないのですが、皆さんやりたいこといっぱいあると思います。全部大正銀行さんが持ってくれるのであればこのまま進むのかもしれませんが、そういう訳にはいかないと思いますので、今後どうしていくかというのを今日いただいた意見を基に次回以降進めていければと思っています。今日、こういう形でグループワークしていただいて、いつもの会議タイプに比べて皆さんのご発言の量も非常に多くご議論いただけたと思いますので会議としては非常に良かったと思っております。</p> <p>次回以降のスケジュールも含めて事務局から最後にご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料１の最後にスケジュールを掲載させていただいています。</p> <p>今、座長の方からお話があったように沢山の意見をいただきました。まちのグランドデザインをこの会議の場所で意見を伺いながら、市で作るということでスタートしていますので、行政ができること、民間さんと協力していくこと、また短期的、中長期的にこういったものやっていけばいいのかというのを座長と、また、オブザーバーとして来ていただいているリンクアップさんとも一緒に次回議論ができるようなグランドデザインの「たたき台的なもの」をお示しできればいいのかなと思いますし、当初５回ということでスタートしておりますけれども、会議の回数を見直すこと等も含めて大麻町のまちづくりになるようなアクションを引き続き起こしていきたいなと思っております。事務局からは以上となります。</p>
事務局	<p>本日の会議録につきましては、事務局で整理した上で、皆さまに文書又はメールで後日送付いたしますのでご確認をお願いいたします。次回の会議は１月から２月頃を予定しております。場所は堀江公民館を予定しております。本日欠席している委員さんのご都合も確認しながら詳細日程確定しましたら改めてご案内いたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>